

市長と語る

対話

の

あ

市制施行50周年を迎える

# 長岡京市

長岡京市長 中小路健吾

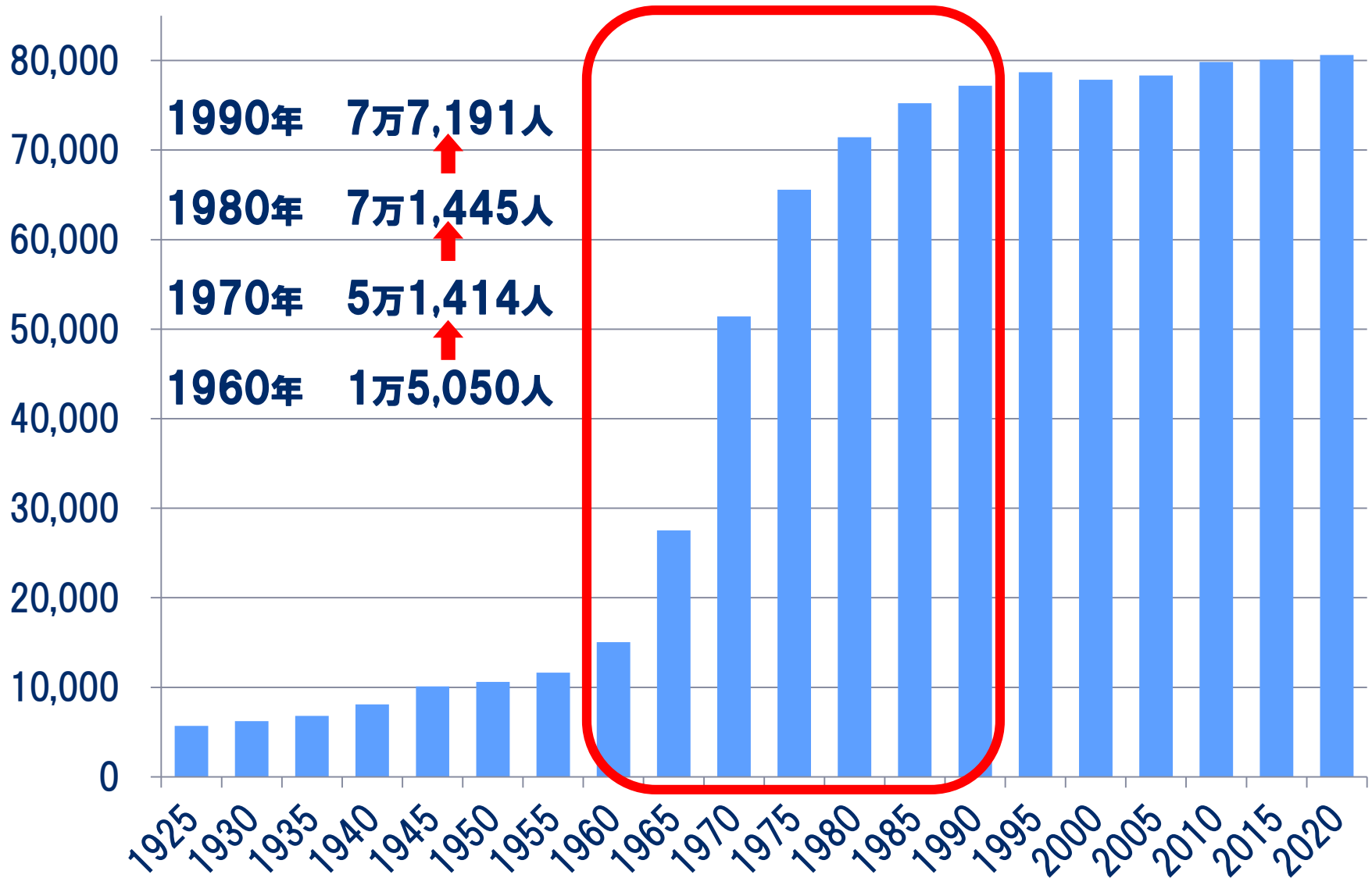


長岡京市  
2022 市制50周年

# 歴史ある街 長岡京

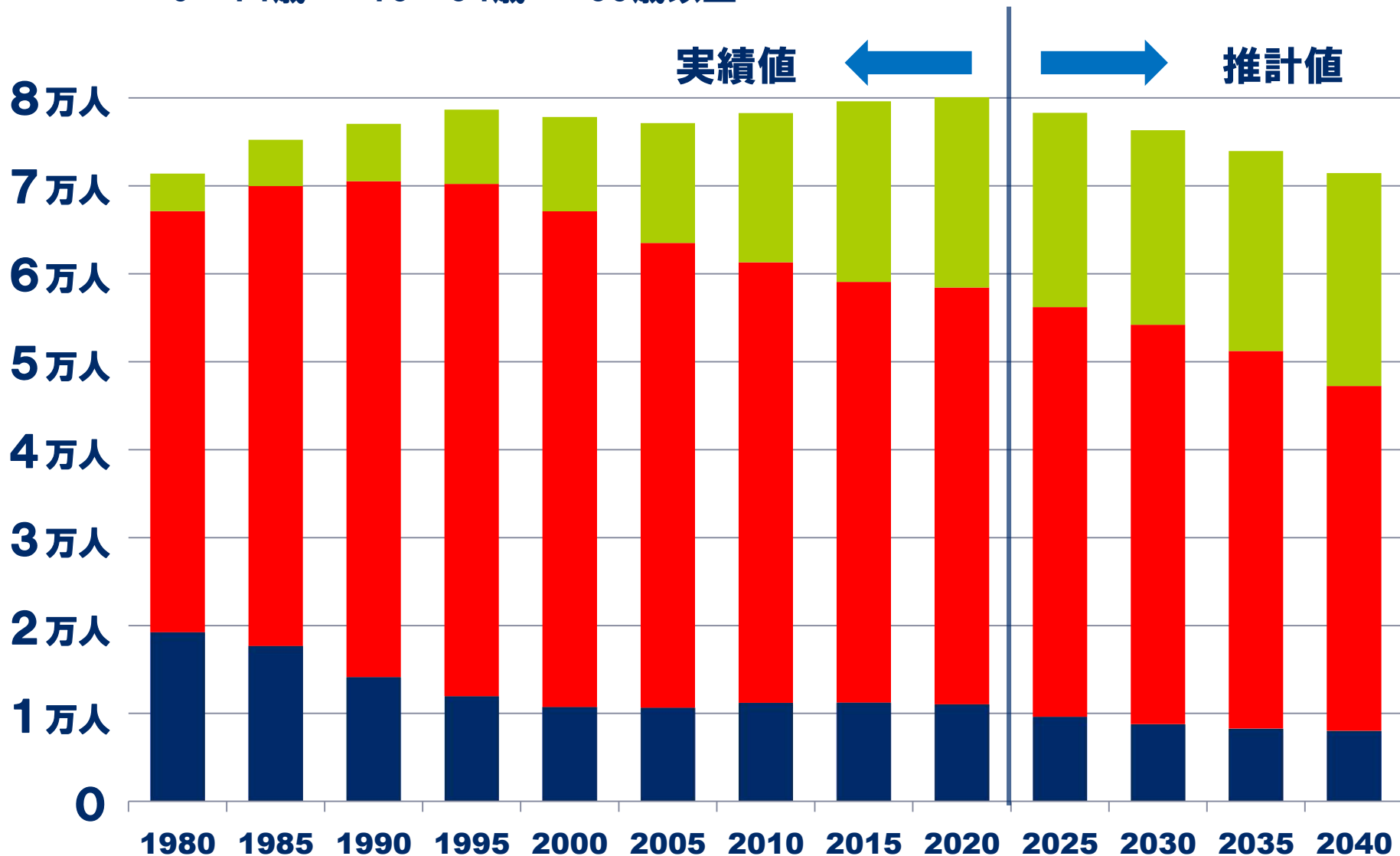
- 西暦518年 継体天皇、弟国宮に遷る  
(~526年)
  - 西暦784年 桓武天皇、長岡京に遷都  
(~794年)
  - 昭和 24年 3村の合併で長岡町が誕生
  - 昭和 47年 市制施行
- ※ 令和4年10月：市制施行50周年

# 高度経済成長長期に急増した人口

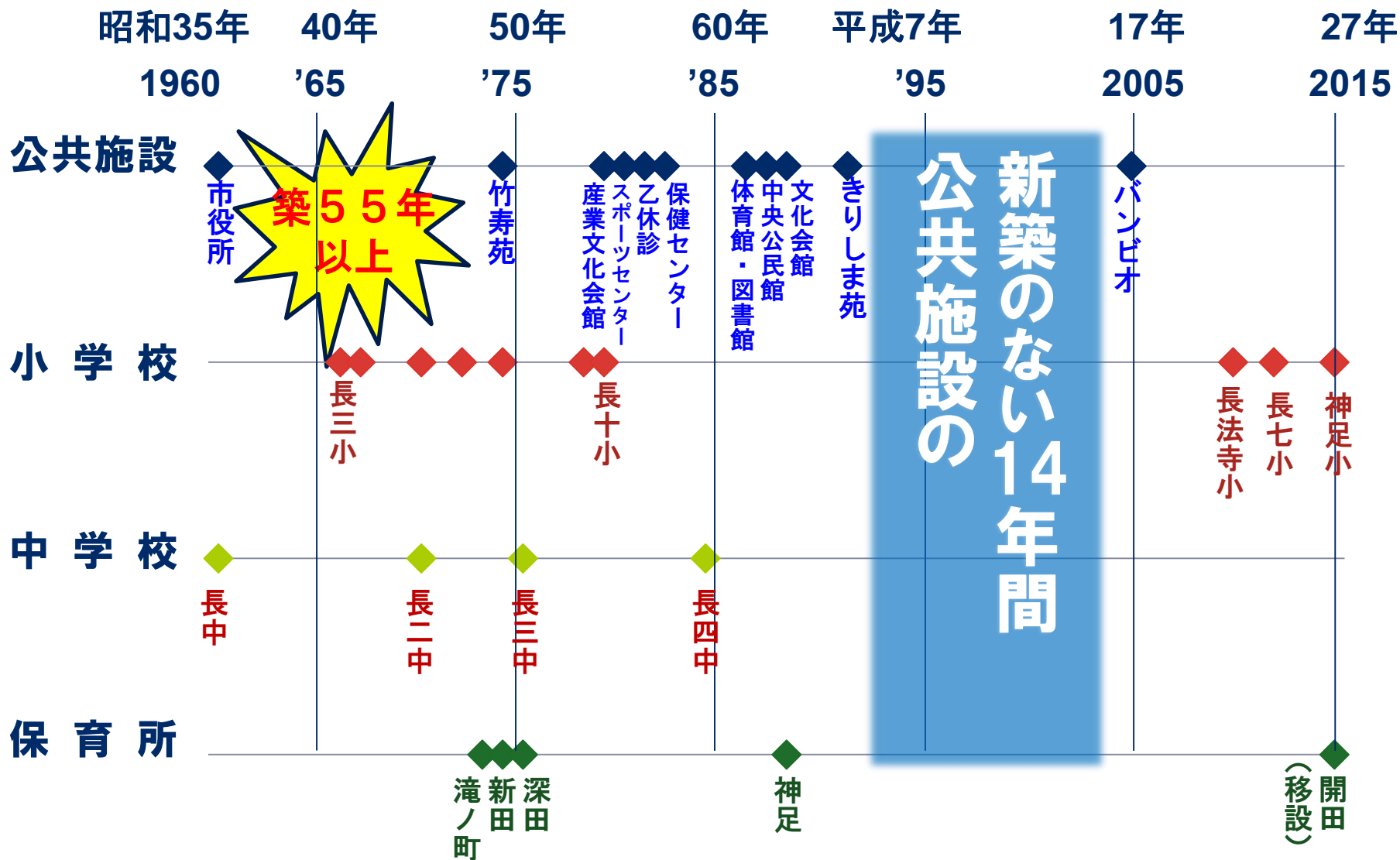


# 将来の人口減少と高齢者数の増加

■ 0～14歳 ■ 15～64歳 ■ 65歳以上



# 公共施設の建設時期



# 3つの戦略目標

1. 定住促進
2. 交流拡大
3. 新陳代謝

# 次の50年を見据えた まちづくり



# 市制50周年 テーマ・キャッチコピー



長岡京市  
2022 市制50周年

▶ テーマ

## 継承と発展

▶ キャッチコピー

# 8万人とつなぐ、バトン。



# 市制施行50周年を契機に

## 新たなまちづくりが 始動！

進化する  
まちづくり

先人が創り・育て・紡いできた  
長岡京市の魅力を継承し、  
さらに発展させ未来につなげる！  
その礎となる取組みを進めます

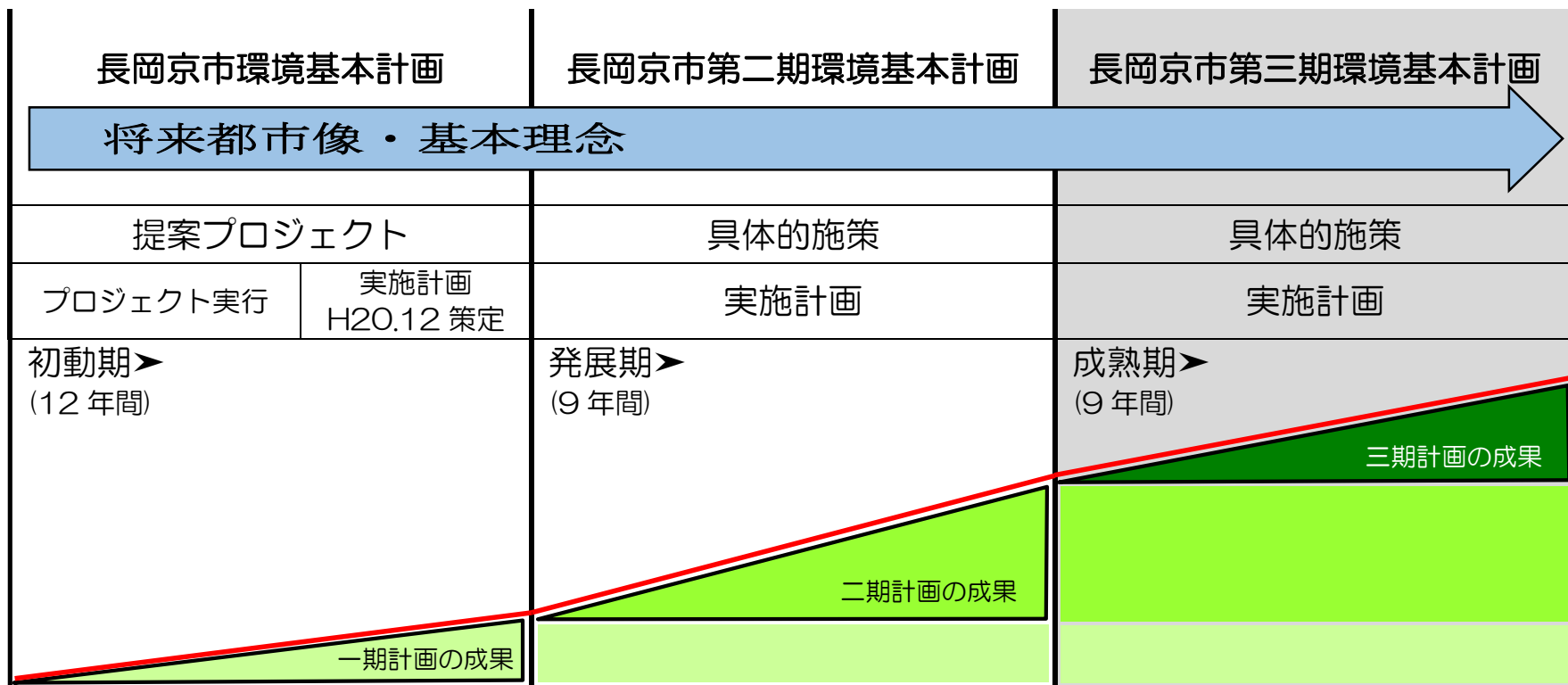
- 環境に関する取組み
- (仮称)自治振興条例
- 中小企業振興条例
- 文化財保存活用地域計画



# 環境に関する取組み

# 長岡京市第三期環境基本計画

## つむぎ織りなす “環境の都” 長岡京



平成13年3月  
(2001年)

平成25年3月  
(2013年)

令和4年3月  
(2022年)

令和13年3月  
(2031年)

# 基本施策① 気候変動対策

## 再生可能エネルギーの普及

- 家庭、事業者、公共空間における再生可能エネルギーの導入

## 省エネルギーの推進

## エコ建築の普及

- エネルギー効率が高く環境に配慮した公共建築物等の整備

## エコ交通システムの導入

- 公共交通利用の促進
- 次世代自動車等の普及促進

## 気候変動への適応推進

# 基本施策② 資源循環

## 廃棄物の発生抑制

- 食品ロス・プラごみの削減

## 再生利用・資源回収の推進

- 分別収集の促進

## 廃棄物の適正処理

- 一般廃棄物、粗大ごみ等の適正な処理

## 水資源の有効活用・水環境の整備

- 将来にわたり安全で安定した水環境の維持

# 基本施策③ 環境共生

## 西山をシンボルとする自然環境の保全・再生・活用

- 西山の森林整備・有効活用

## 竹林の保全・再生・活用

- 竹林の整備

## 環境にやさしい農業の推進

- 環境負荷に配慮した農業の推進、地産地消の推進

## 水辺環境の保全・再生

- 河川・水路の維持管理、ホタルの保護と育成

# 基本施策④ 都市環境

## 身近なみどりの保全・創出

- まちなかのみどりの創出、公園緑地の整備・維持管理

## 環境に配慮した都市空間整備

- 環境配慮型の都市基盤整備、歩きやすい道路空間整備

## 歴史文化資源の保存・活用

- まちなか博物館ネットワークの整備

## 環境美化の推進・住みよい生活環境の維持

- 地域の清掃活動の促進、空き家や空き地の適正管理の推進



# 各施策を貫く 4つの視点



■ ① ゼロカーボン社会を目指し、

環境に優しく地域経済が循環するまち

■ ② 環境と調和のとれた

新たな地域の魅力を創造するまち

■ ③ エコライフと暮らしやすさを両立するまち

■ ④ 持続可能な未来を築く

人が育ち・学び・人がつながる環境の都

# 指定ごみ袋制度を始めました

ごみの見える化 で ごみを減らす



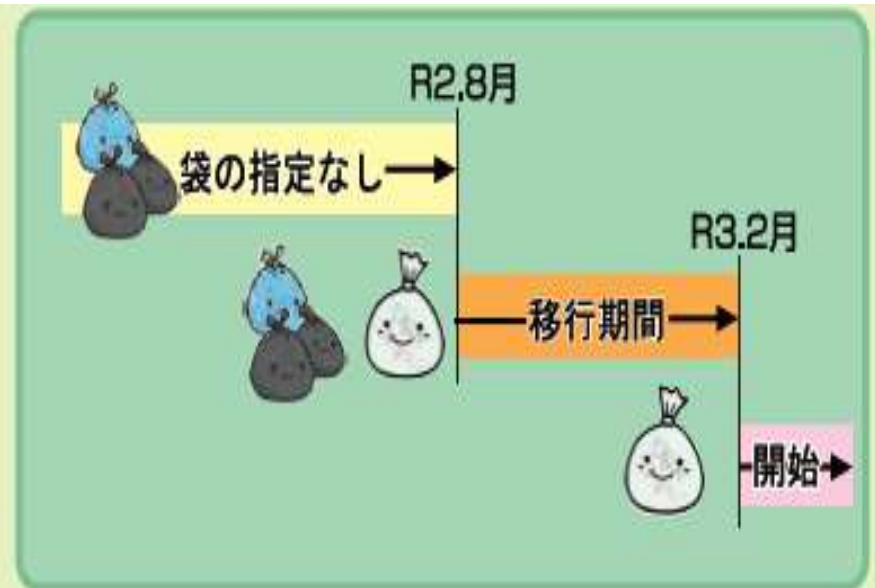
## 長岡京市の場合

### 開始はいつから？

移行期間 令和2年8月～令和3年1月

導入開始 令和3年2月

指定ごみ袋以外で出されたごみは収集しません。



# 家庭系可燃ごみの推移（長岡京市）

多くの月で **10%以上** の減 $\searrow$

スタート

単位:トン

	1月	2月	3月	4月	5月	6月
令和2年	1,074.43	911.34	1,154.48	1,169.49	1,263.35	1,163.57
令和3年	1,124.42	809.17	982.60	1,020.61	1,065.83	951.42
前年月比較数	49.99	-102.17	-171.88	-148.88	-197.52	-212.15
前年月比較増減率	5%	-11%	-15%	-13%	-16%	-18%

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和2年	1,113.09	1,049.43	1,015.20	1,086.25	1,074.31	1,223.31
令和3年	991.03	1,042.12	928.53	913.62	1,004.37	1,049.11
前年月比較数	-122.06	-7.31	-86.67	-172.63	-69.94	-174.20
前年月比較増減率	-11%	-1%	-9%	-16%	-7%	-14%

# 2050年ゼロカーボンシティ 宣言 (R4.4.1)

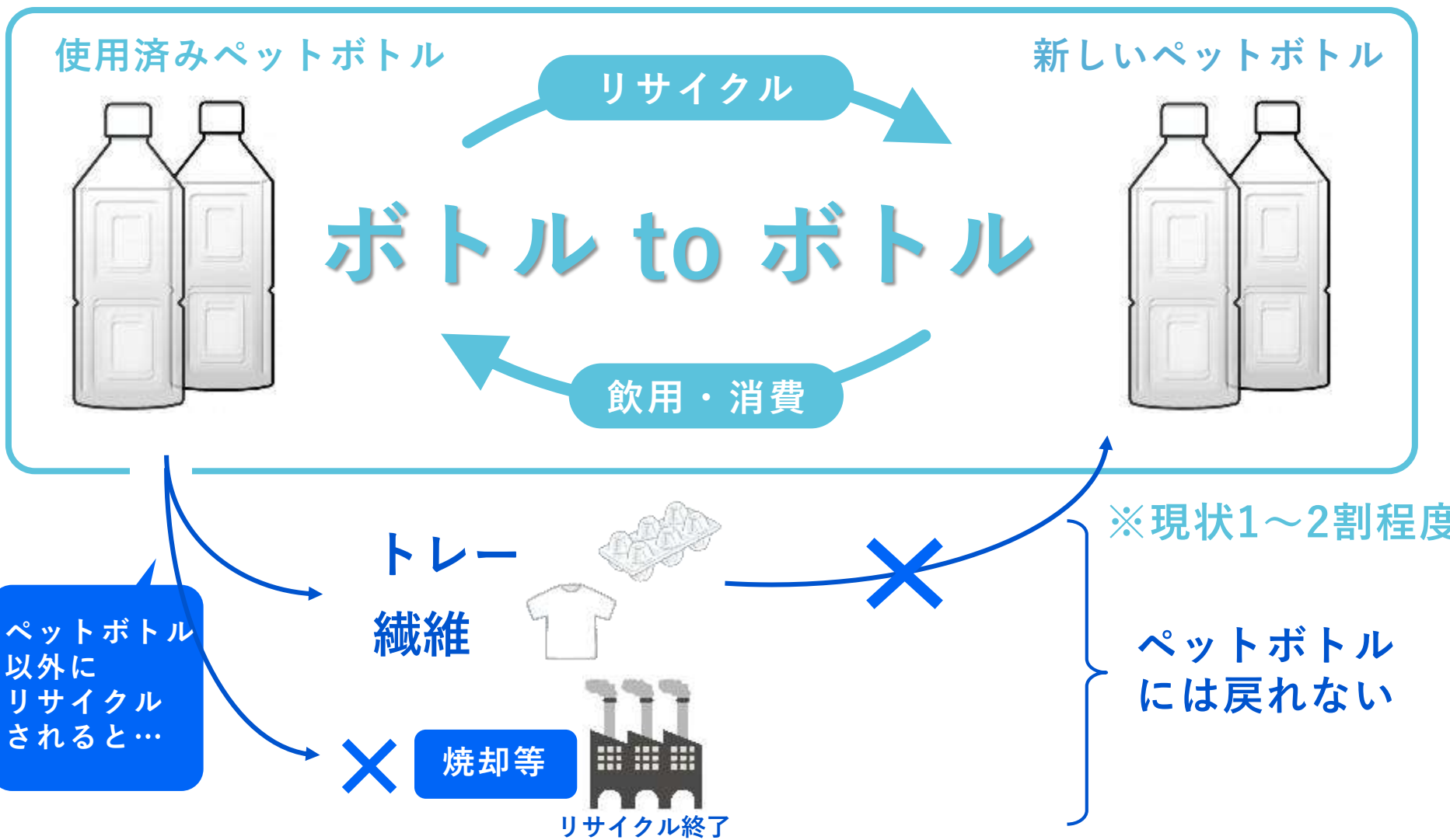
## 2050年までに

## 温室効果ガス排出量 の 実質ゼロ を目指す



- ★ 市民の温暖化対策を財政面で支援する「COOL CHOICE 実践補助金」の拡充
- ★ ペットボトルの水平リサイクル
- ★ CO<sub>2</sub>ゼロで行うごみ収集
- ★ JR長岡京駅東口駅前広場の電力を再生可能エネルギーで賄う取組み

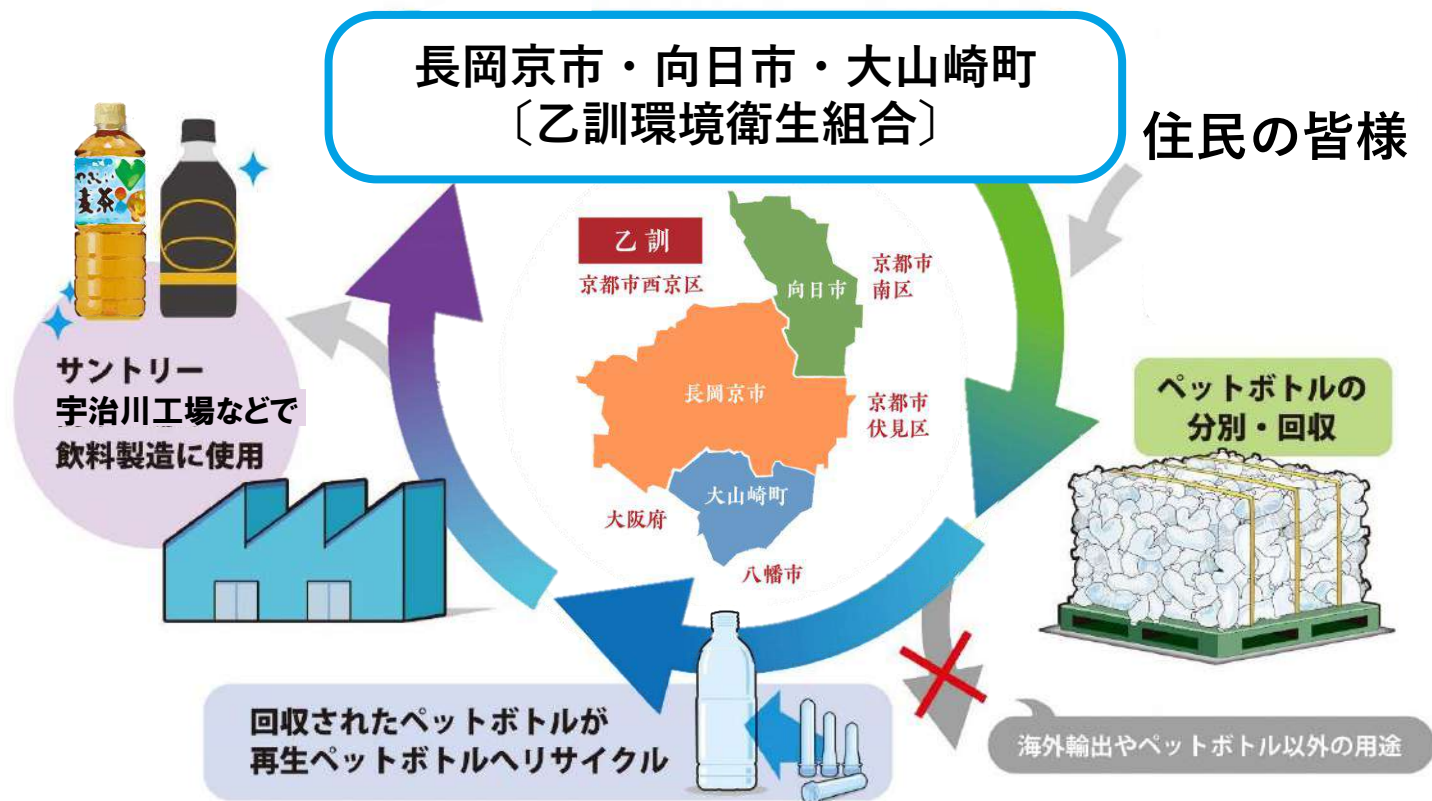
# ペットボトルの水平リサイクル①



新たな化石由来原料を使わず、半永久的に「ペットボトル」として循環できる

# ペットボトルの水平リサイクル②

令和4年4月より 乙訓2市1町で回収されたペットボトルは、  
**全て新たなペットボトルに生まれ変わります。**



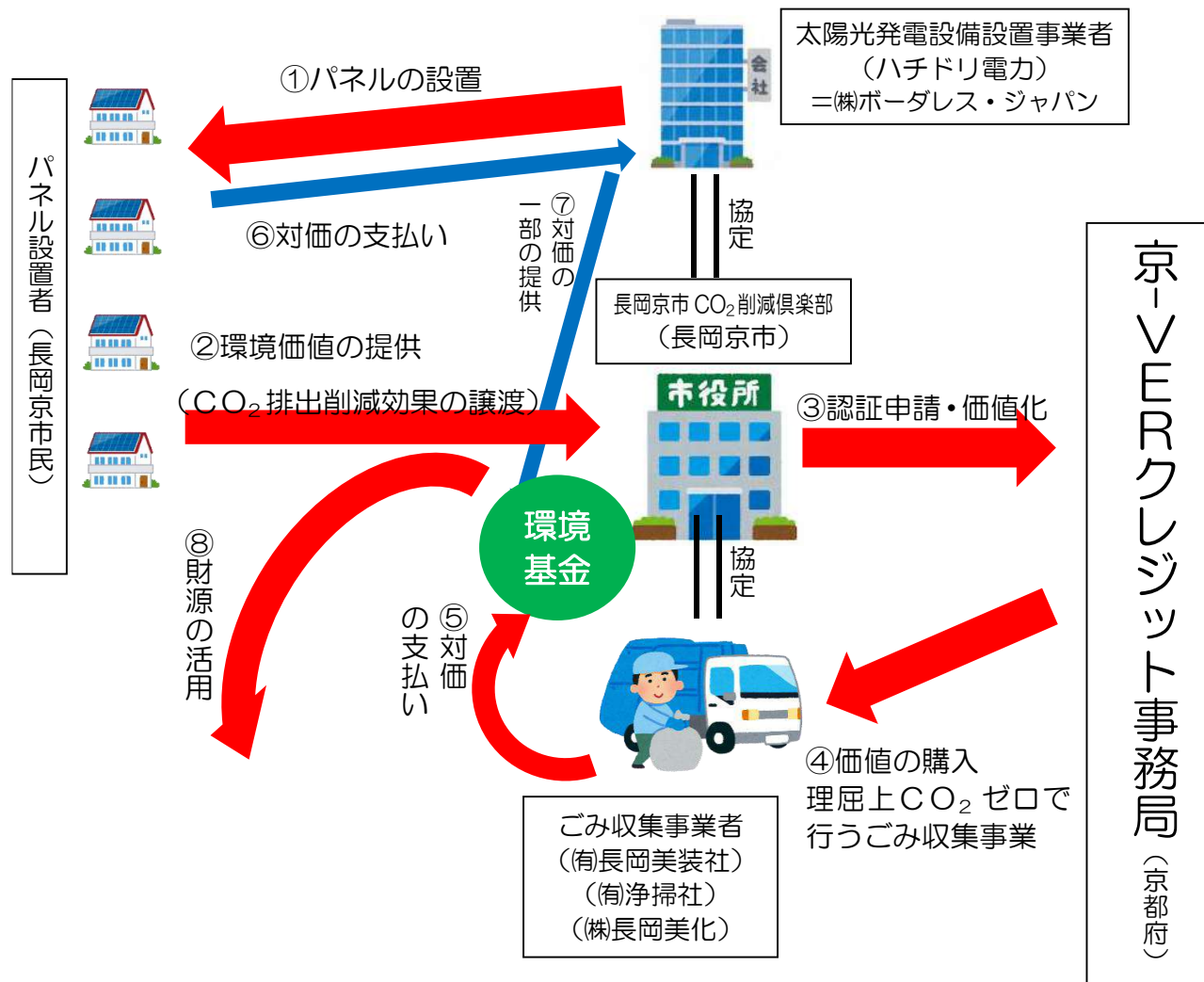
令和3年10月21日 長岡京市・向日市・大山崎町・乙訓環境衛生組合とサントリーは  
ペットボトルの「ボトル to ボトルリサイクル事業」に関する協定を締結。



# 「CO<sub>2</sub>ゼロ」で行うごみ収集 ←

**全国初!**

## CO<sub>2</sub>削減価値を集めて生み出されたクレジットをごみ収集に



### 目的①

本取組のPR  
= 温暖化防止の意識啓発

### 目的②

環境施策への再投資  
= 新たな環境価値

### 目的③

中小事業者の社会的責任



# JR長岡京駅東口 駅前広場の再整備



# 再生可能エネルギーの利用



(株)村田製作所からの寄附

太陽光パネル

×

蓄電池



- ★ 電気使用料削減  
・ CO<sub>2</sub> 削減
- ★ 東口駅前広場の照明電力を賄う
- ★ 災害時の非常用電源として利用

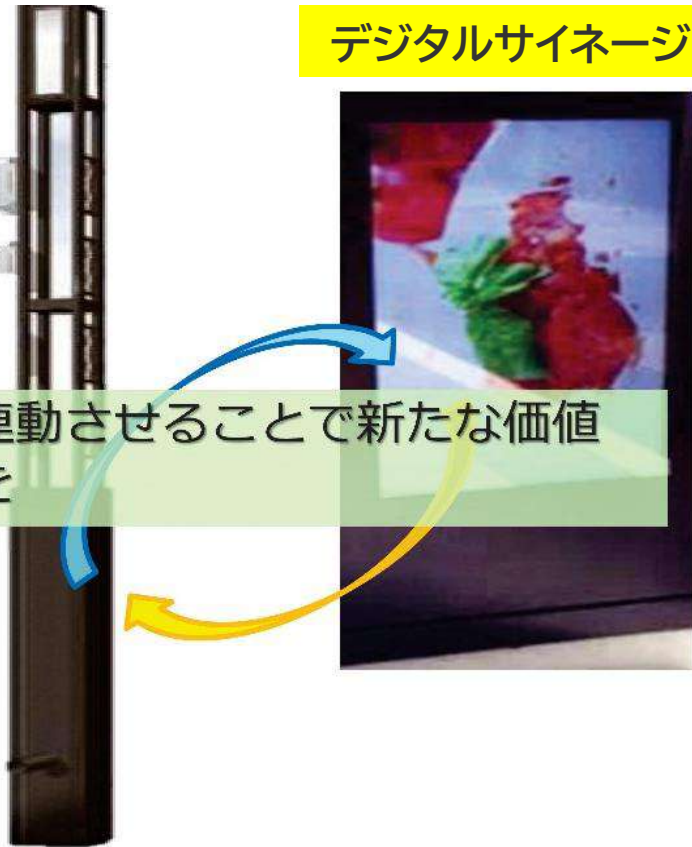
※余剰電力については、西口駅前広場で利用できないか検討

# 一歩進んだ街づくりへ

スマートポール

デジタルサイネージ

連動させることで新たな価値を



スマートポールの

人感センサー

×

デジタルサイネージ



- ★ 市のPR、交通・気象情報をデジタルサイネージに表示
- ★ 人感センサーが作動しない間は、駅前照明の照度を下げ節電対策



**（仮称）**

# **自治振興条例**

# 本市が考える自治振興条例の目的

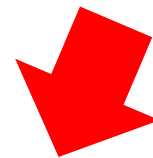
1. 地域における自助・互助・共助組織の  
必要性を再考。市民意識の醸成
2. 自治会、地域コミュニティ協議会などの  
役割を明確化
3. 様々な活動団体における協力・連携に  
よるまちづくり

# 条例施行に向けて



■第1回 自分ごと化会議（R2.12.12）の様子

- 条例検討委員会  
学識経験者、地域の代表 等
- 自分ごと化会議  
無作為抽出した市民(68名) 等
- 市民意見交換会  
R4年7月に開催予定
- 庁内条例検討  
プロジェクトチーム



**令和4年度内** の条例施行を目指す



# 中小企業振興条例



# 地域経済の活性化に向けて

## 1. 地域内経済循環

…**地元**でお金を使ってもらおう

## 2. 外需の拡大

…**人が来て**お金を使ってもらおう

## 3. 中小企業の成長

…**企業が育つ**環境

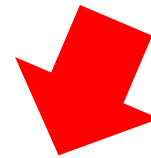
⇒ 1・2・3の好循環により、  
**魅力的な事業所**が多い**活力あるまち**

# 条例施行に向けて



■意見交換会（R4.3.26）の様子

- 条例検討準備会  
これまでに10回開催
- 条例検討会  
条例施行までに6回開催予定
- 意見交換会・シンポジウム  
R4年3月26日に開催



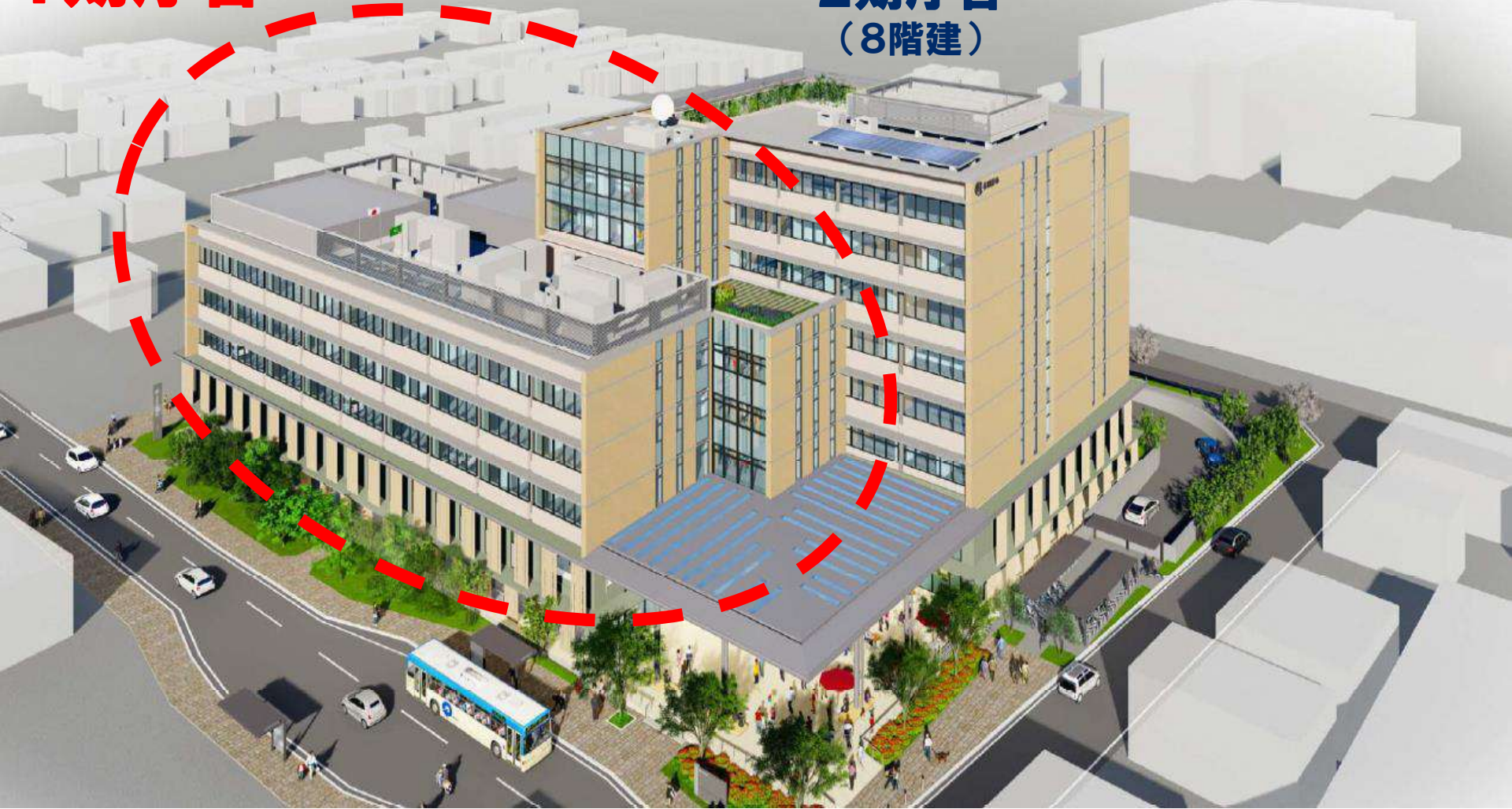
**令和4年10月1日** の条例施行を目指す

# 新庁舎等建設

# 新庁舎の完成イメージ

1期庁舎

2期庁舎  
(8階建)

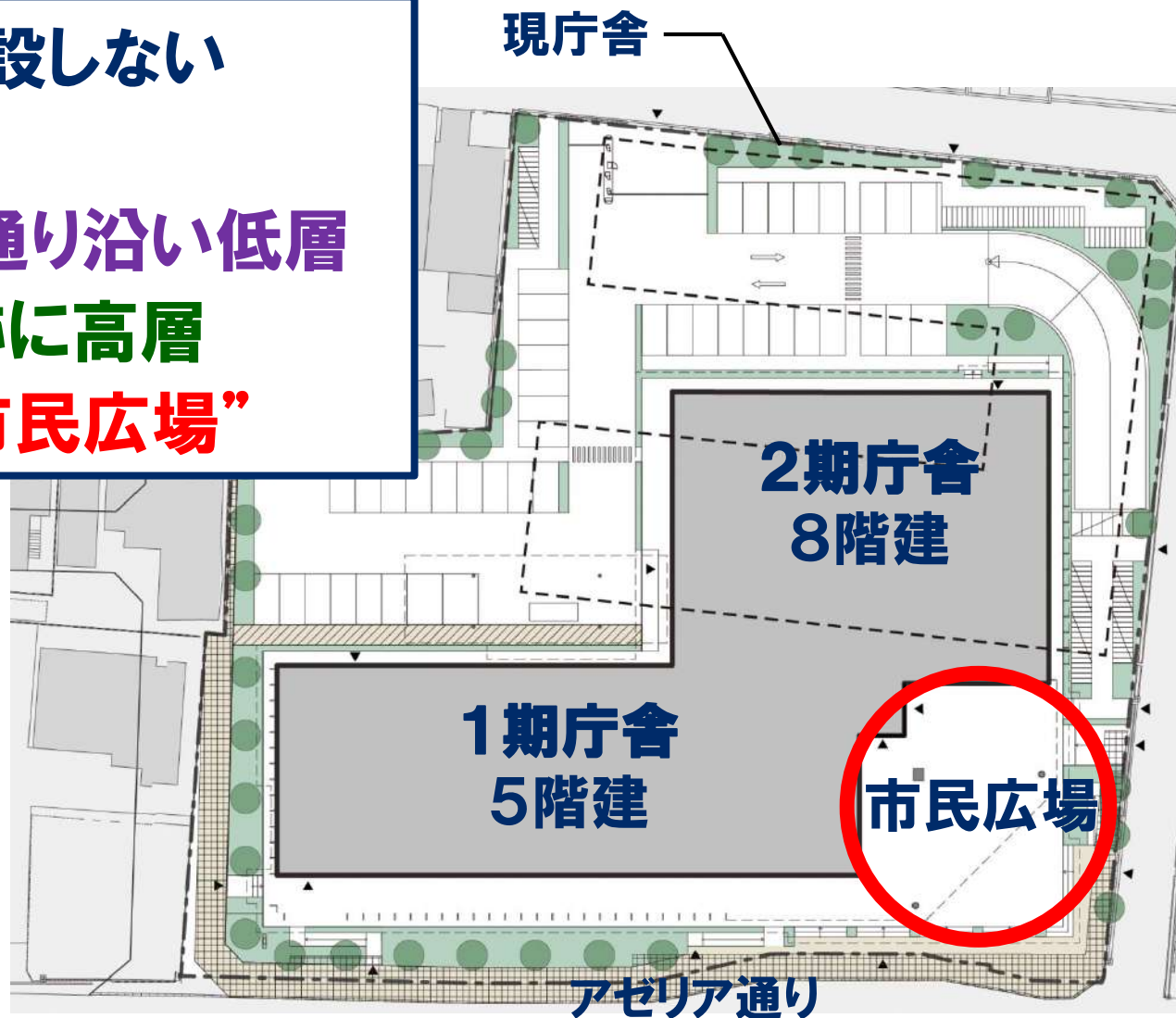


\* イメージであり、確定したものではありません。



# 配置計画～基本設計を踏まえて～

- 仮庁舎は建設しない
- 2段階整備
  - ① アゼリア通り沿い低層
  - ② 現庁舎跡に高層
- 南東部に“市民広場”



# 新庁舎等建設の工程表

	H31-R元	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
建設			 1期庁舎		 2期庁舎		 外構		
解体					 東・南棟解体		 北棟・分庁舎3 解体		
準備		 埋蔵文化財調査							

※ 全体完成：令和8年12月(予定)

# デジタル化の推進



# 3つの方針とその目的

**「書かない」を目指す**

- 申請書記入の負担軽減

**「待たない」を目指す**

- 窓口の混雑状況や待ち時間の可視化

**「行かなくてよい」を目指す**

- オンライン手続きの推進



**来庁者の利便性向上を図る**

# 中心市街地 阪急長岡天神駅 周辺のまちづくり

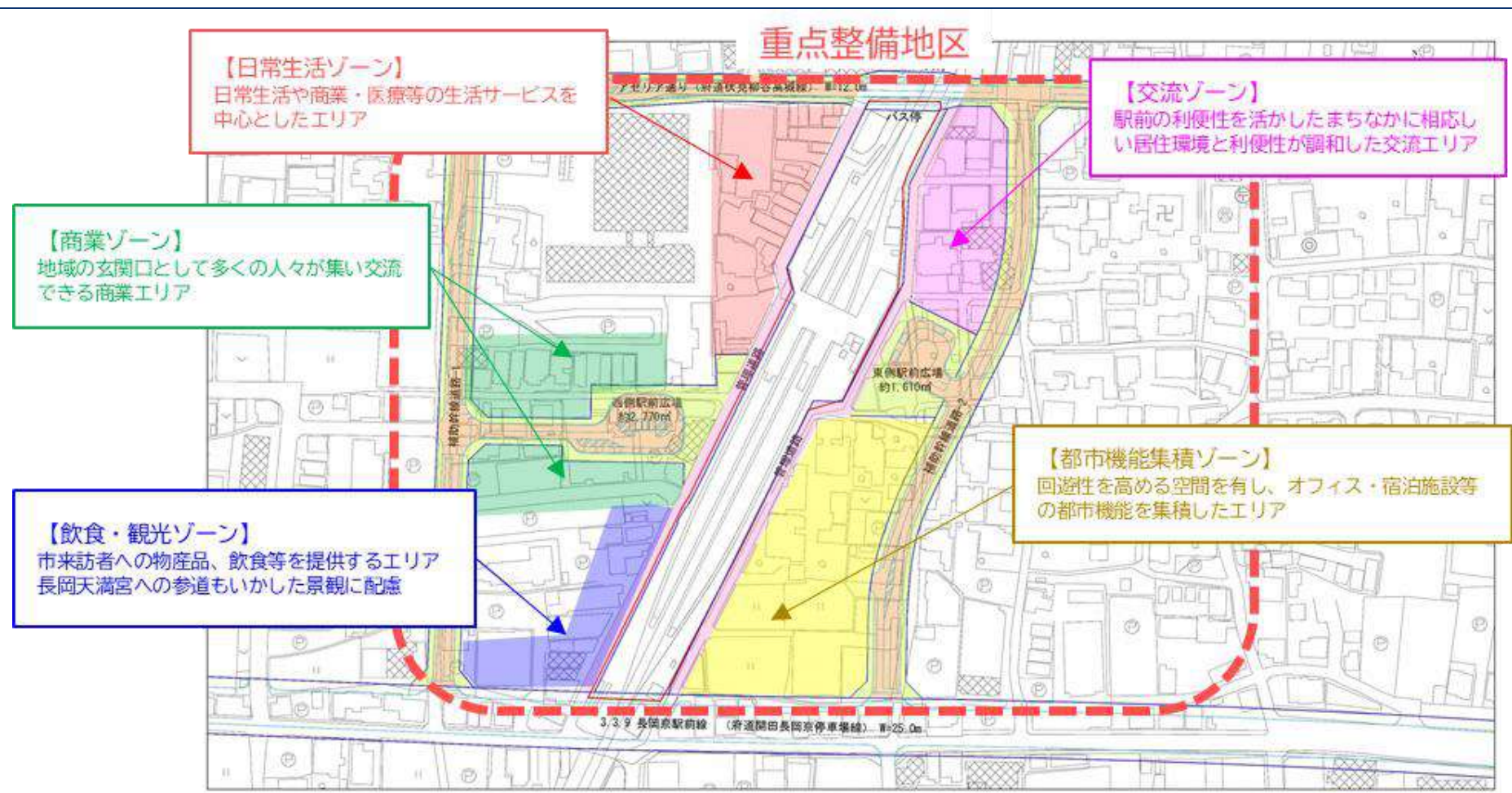


# **市街地整備事業**

## **-現在の検討状況-**

# 重点整備地区である東西エリア

## 目指すまちづくりの実現に向け、整備手法・時期を検討



**阪急長岡天神駅**

**西地区**

**市街地整備事業**

# 西エリアにおける今後の取組み

1. 補助幹線道路・駅前広場の位置・形状を決定
2. 地権者の意向確認、民間ヒアリング等を参考に  
事業区域・手法を具体化
3. 事業に関わる地権者を対象とした協議



**西地区整備計画（案）**の作成

**阪急長岡天神駅**

**東地区**

**市街地整備事業**

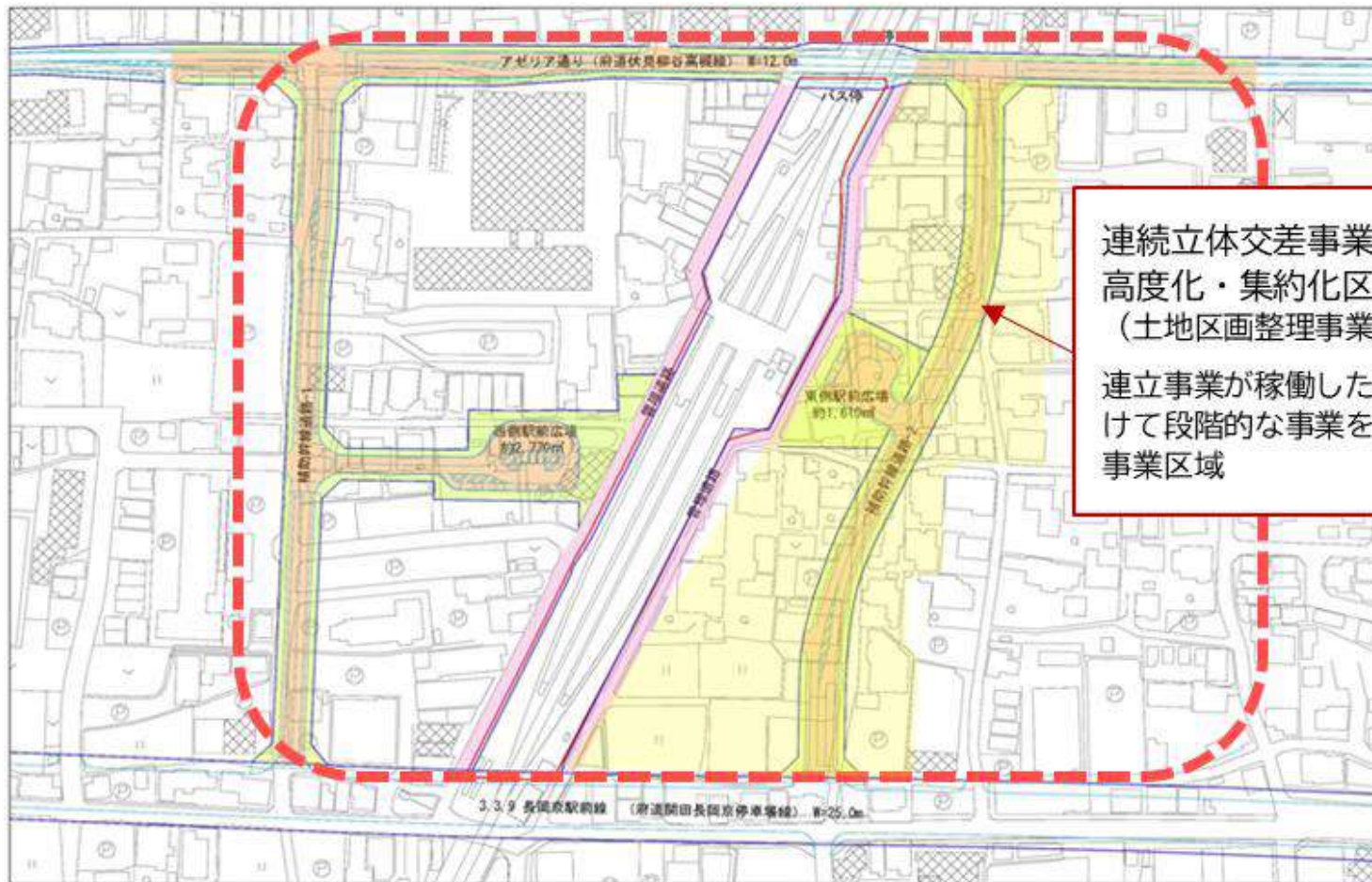


# 東地区における事業の進め方

連続立体交差事業の影響が大きい

⇒ 段階的な事業を展開

重点整備地区



連続立体交差事業を推進する役割を持つ  
高度化・集約化区域  
(土地区画整理事業、市街地再開発事業等)

連立事業が稼働した際や全体計画の実施に向けて段階的な事業を展開するステップアップ  
事業区域